

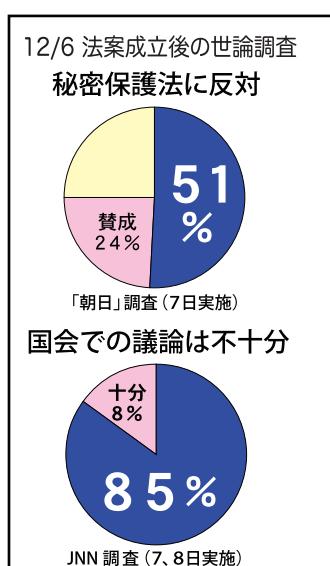
安倍内閣の強行採決に強く抗議 「秘密保護法の実施中止・撤廃を

12/13
11月県議会
本会議

求める意見書」を提出し、賛成討論



11月27日、県議会本会議場で県議在職10年表彰をいただきました。みんなに心から感謝いたします。



この集会を呼びかけた土井由三さん（元小杉町長）らが連名で、県議会にも「反対」の請願を提出されました。

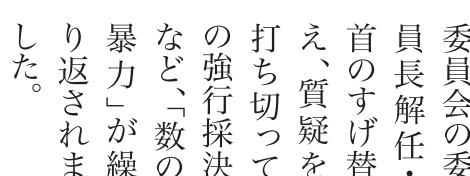
秘密保護法は、安全保障上必要と政府が指定した「秘密」を洩らした公務員を、10年以下の懲役に処するというもの。秘密指定の範囲は、政府の一存で際限なく広がります。しかも、何が秘密に指定されたか、国民には知られません。

安倍内閣が12月6日、参議院本会議で強行採決した秘密保護法案。11月7日以来、国会での審議が進めば進むほど、国民の反対世論が広がったのが特徴でした。11月21日夕方、富山駅前でも、雨のなか反対集会が行われ280人が参加。12月5日には300人が参加しました。

11/21・12/5
「秘密保護法反対の県民集会」開く
呼びかけの方々が「請願」

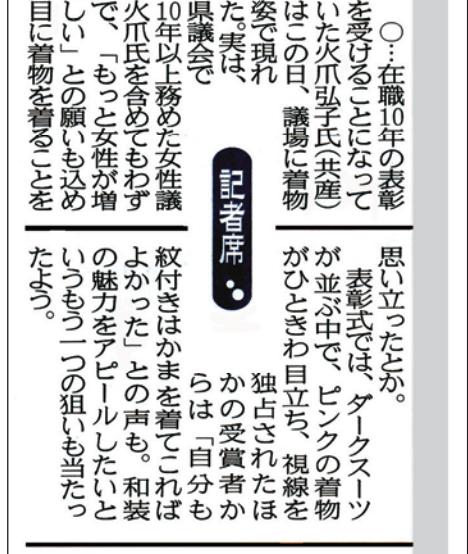
日本共産党・ひづめ弘子県議

11月27日から12月13日まで開かれた11月県議会。安倍内閣の様々な暴走のなかで、国政問題について多くの議論が行われました。本会議での、「意見書」の議論について、紹介します。



日本弁護士連合会、日本ペンクラブ、日本新聞協会など多くの団体と、ジャーナリスト・文化人など幅広い方が、次々に反対の「声明」を発表。

追い詰められた安倍内閣は、国会会期末(12/6)までに法案を成立させるためになりふり構わぬ国会運営に。野党との合意なしの委員会開会、参議院の二つの委員会の委員長解任・員長交代など、「数の暴力」が繰り返されま



11/28富山新聞より

全会一致で採択

「障害者の補装具費支給制度の抜本改正を求める意見書」

県内6障害者団体が連名で提出し、県議会で「もう女性が増えてほしい」との願いも込めました。

「中国による防空識別圏の設定の即時撤回を求める決議」

決議は「冷静かつ毅然たる態度で、あらゆる外交手段などの措置を講じること」を政府に求めています。



●ご意見、ご要望を何でもお寄せ下さい。

日本共产党

ひづめ弘子
県議会報告 No. 41

発行／日本共产党富山県議団
〒930-0982 富山市荒川2丁目24-12
電話(076)432-8383 FAX(076)442-1220
Eメール／hiroko.jcp@sand.ocn.ne.jp

2014年
頌春

今年もよろしく
お願ひいたします。

少人数学級

35人学級の拡大を求めて、保護者・

教育関係者などと運動、議会で質問

県議会
教育警務委員会
11/21.12/12



11/27 「ゆきどいた教育を進める富山の会」のみなさんが議長に「請願」

安倍内閣の危険な「教育再生」

安倍内閣は「教育再生」をかけ、①グローバル化した大企業のための人材育成、②憲法9条改正、「国防軍」を支える人材育成を強力に推進しようとしています。

全国学力テストの実施などによる「競争教育」の推進、自治体首長が教育行政の権限を握るための方教育制度改革、戦前の侵略戦争を肯定・美化する教科書採択の推進、上からの「いじめ対策」と道徳教育の教科化…など、危険な政策が矢継ぎ早に打ち出されてきました。教育関係者からも、強い警戒の声があがっています。

明らかにしました。



県教育委員会も答弁で、7月のアンケートには「從来どおり」が適当と答えたことを

地域の交番、留守時間の解消へ 交番相談員の配置充実を要望

ひづめ県議は「交番を訪ねても留守だった」との住民の声を紹介。警察官の出動時にも、交番にいる交番相談員が配置されてきましたが、まだ6つ（水橋・大山・朝日・魚津中央・城端・福野）が未配置です。配置を急ぎ、必要な交番への複数配置もめざすよう要望しました。

県警察生活安全課長からは「新年度配置増に努め、その後は必要に応じて複数配置についても検討したい」との答弁がありました。

富山県の35人以下学級は、小学1・2年生と中学1年生（中1は選択制）で止まつたまま。全国的に見れば、すでに11県（平成24年度・文部科学省まとめ）が小中の全学年に少人数学級を導入しています。今年はもとと進んでいます。ひづめ県議は、3年生になって急に多人数学級になる小学校3・4年生の実態を紹介。35人以下学級の拡大を強く要望しました。

しらとり支援学校の スクールバス充実を要望

知的障害を持つ児童・生徒は県内でも、10年前に比べて約1・3倍に増えています。特別支援教育の充実は切実な課題です。

ひづめ県議は、しらとり支援学校に新年度入学予定の子ども・保護者の声を紹介。送迎の問題が、最大の悩みとなっていました。これを指摘し、親身な対応とスクールバス路線の延伸などを求めました。

来年4月22日に、小6・中3を対象に、すべての学校で実施される全国いっせい学力テスト。11月29日に文部科学省は、市町村教育委員会が学校別の結果を公表することを認める実施要領を示しました。

しかし、学校別結果の公表は点数競争をさらに激しくし、教育をテスト対策偏重にゆがめることになります。

7月に文部科学省が実施したアンケートに対しても、「従来どおり、教育委員会は公表できないようにする」のが適当と回答したのが、学校で79・3%でした。それ

なのに、安倍内閣は今回の判断を強行。ひづめ県議は質問のなかで強く批判しました。

県教育委員会も答弁で、7月のアンケートには「従来どおり」が適当と答えたことを

保護者の運動で開設

「とよた学童クラブ・15周年記念のつどい」ひらく

富山市豊田と倉垣地域で学童保育所を運営するNPO法人「とよた学童クラブ」が、開設から15年を迎えました。ひづめ県議が初代の父母会長をつとめ、以来ずっと一緒に運動してきた学童保育所です。4年前には、保護者と地域の応援の力で、2軒のクラブ施設を新築しました。

富山市が学童クラブ設置に責任を持たない中で、平日は夜7時まで、夏

休みも朝8時から、しっかり預かる学童保育所として貴重な役割を果たしてきました。



11/30 とよた学童クラブ 15周年記念のつどい

2回開かれた教育警務委員会でひづめ県議は、①少人数学級の拡大を求めて②しらとり支援学校のスクールバス充実③全国いっせい学力テストの結果公表のあり方④富山市内の警察署再編計画と交番相談員の配置、などについて質問しました。

「ゆきどいた教育をすすめる 富山の会」が、請願を提出

11月県議会には、保護者・教育関係者などでつくる「富山の会」から、30人学級の実現、教育予算の増額、保護者負担軽減、学校施設の耐震化など、7項目を求めた請願署名1万6083人分が提出されました。ひづめ県議と、社民、民主の議員が紹介議員になりました。

H24年度 少人数学級の実施状況

	県数	
小中の 全学年	11府県	山形、福島、千葉、和歌山、鳥取、岡山、山口、愛媛など
小学校 全学年	14府県	(上記に加えて)長野、滋賀、福岡
	14府県	
小1、2と 中1のみ	12道県	北海道、岩手、宮城、埼玉、東京、 富山 、岐阜、愛知、三重、佐賀、宮崎など
小1、2 のみ	7府県	大阪、島根、広島、熊本など

12/12教育委員会の答弁より
(H25年度はさらに前進している)



10/7 小中全学年に35人学級を導入している山口県を視察